

夜間学校ニュース

1987年5月8日
西成区萩之茶屋2の
8の9 旅路の里気付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の

指紋押なつ拒否断固支持!

定住外国人に市民権を

朝日襲撃事件と釜ヶ崎

関係は... あるいは... ない!?

せつじつな要求をつまつけらぬ
信じていることが言えない

差別社会へ...

みんなでつくろう
みんなの会館
三人よれば何とかの知恵

釜ヶ崎夜間学校

毎週金曜日
夜七時より
市民館三階

東京の山谷では、右翼暴力団、国粋会金町一家西戸組が、暴力で「寄せ場」を支配しようとしたことを阻止しようとした闘いの中で、二人の仲間が殺されている。

五月三日、朝日新聞の支局を襲い、一人を死亡させ、一人に重傷をおわせたのは、犯行声明が犯人からのものとすれば、「日本の国土、

文化、伝統を愛する」といいう、「日本民族独立義勇軍、別動赤報隊」という民族主義右翼というこのようだ。それは別に「こういつきようか」の「わるくちをいうやつはみなごろしだ」との脅迫状も届いているという。統一教会というのも、反共右翼団体のオモテの顔で、金を集めることに精力

をそそいでいる。これらのことは、釜ヶ崎の我々と無関係のことだろうか。

夜間学校ではこれまで、たびたび釜ヶ崎に対する、釜ヶ崎の労働者に対する差別についてとりあげ、考えてきた。

差別は多様な生き方、考え方、自分と異なる存在様式などを認めず、迫害を加えることである。その際、自分達とちがうということを、合理化するためにレッテルをはりつける。

たとえば、「青カンをする

連中は無能力者であり、浮浪者なのだから、人権など認めなくともよい。」

「単身で、飯場をわたり歩く労働者は、何をしてもかすか判らないうようするに、浮浪者」

「ヤ、労働者は、平均的な日本人（結婚して、定職につき、一定の所に長く住む）ではない、そうになったのは当人達の無能力のせいだ、とする考え方だ。

「二のような考え方を、我々は許すことができない。

会社は倒産、親父はトングズラ...

(五月一日夜間学校の報告です)

「だいたいカジ屋は高
りとして仕事をするの
が普通かな。トングズラ
が

今年のはじめの夜間学校では何度か、ここ三、四年の間に釜に来た人について話し合いました。年末、年始の調査を元にしたものでしたが、前回の夜間学校には、この三月にやってきたという人が参加。いろいろ話しを聞かせてもらいました。

つと四、五の軒はあった。まあうち最後ま

「三月に来はったて、その前は何をしていたん？」

「残った方やと思うけどな。」「何人で働いてたんや？」

「その前はとうしてはった？」

「で、どんな仕事が多いんや？」

「瀬戸内海の島の造船所や。だいたい八百く千トンくらいの漁船を作ってたんやけど、今の不況の前にもうアカンようになっ

「みんな上請け、孫請けの仕事ばっかりや。水を入れるタンクを作ったり鉄骨・パイプもやっ

て大阪へ出て来たんや。」

「倒産してどうなったん？」

「この不況で倒産ですわ。だいたい摂津の鳥飼あたりは、小さな零細な鉄工所が多いんや。ざ

「もつ、親父はトングズラで、材料も退職金もパーや。守墓倉に行ってみたけどアカンかった。」

「倒産してすぐこっちへ来たんや？」

「いや、しばらく下新庄のへん夫出しVに行っちゃってんけど

「今のはどんな仕事を？」

「ワシはどうも高いところは苦手に、ずっとエカスいってます。」

「倒産してすぐこっちへ来たんや？」

「ようそんなふうにおどろめんがあるんや。」

「ワシは、しばらく下新庄のへん夫出しVに行っちゃってんけど

「今はせやけど、ほとんど仕事がないからアカンやろな。」

「倒産してすぐこっちへ来たんや？」

「工場内の仕事ばかり選って行ってさる人があるぞ。」

「今のはどんな仕事を？」

「ワシの知ってる人でも高いト

「倒産してすぐこっちへ来たんや？」

「最初はオドサめてしもたし。」

「倒産してすぐこっちへ来たんや？」

「最初はオドサめてしもたし。」

「倒産してすぐこっちへ来たんや？」

「最初はオドサめてしもたし。」

「倒産してすぐこっちへ来たんや？」

「最初はオドサめてしもたし。」

「倒産してすぐこっちへ来たんや？」

「最初はオドサめてしもたし。」

「倒産してすぐこっちへ来たんや？」

「最初はオドサめてしもたし。」

「倒産してすぐこっちへ来たんや？」

「最初はオドサめてしもたし。」